



## 創刊にあたって

独立行政法人 林木育種センター  
理事長 中 道 正



九州の林業地を旅すると整然と蒼天突かんとするスギ林に厳肅な気持ちになり、一方、北関東地方のスギ林で安息感を覚えるのは小生だけであろうか。前者がクローン苗による相似形状の森林であるのに対し、後者が交配種子苗による不均質林相に由来しているのであろうが、この相違こそ林木遺伝子の具体的発現をみているものである。

我々が対象としている林木は、品種改良の歴史でもある農作物や家畜と異なり、それこそ有史以前から天然自然の中で交配が繰り返された「雑種」である。育種素材として利用するには特性や遺伝継承性等の検証が必要で

あり、その間長期間の調査研究が続けられねばならない。当センターに集積された精英樹等は新品種開発に活用されているが、遺伝資源確保という面でも世界的に貴重なものと位置付けられる。

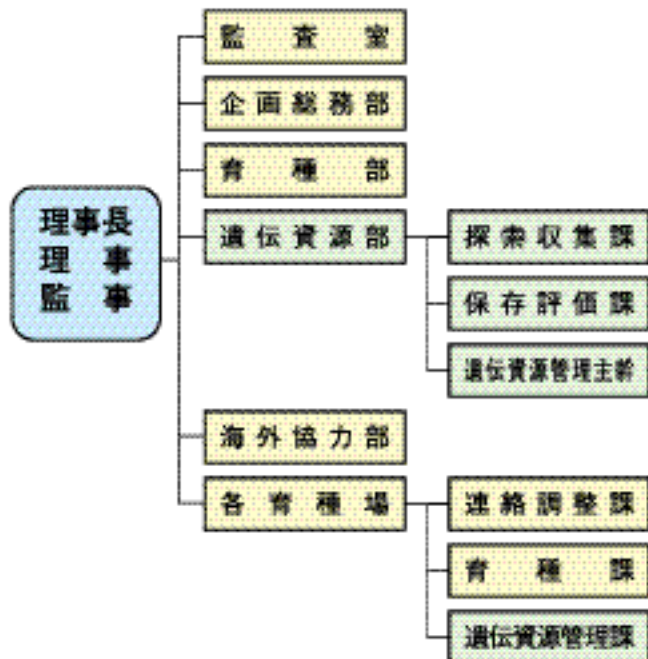
一方、経済、社会の発展は森林環境に大きな影響を与え、森林の多様性維持が困難になりつつある。このため、絶滅危惧種、希少種の林木はもとより、巨樹、古木等についても収集し保存することが必要とされている。さらに、今後林業的利用が高まると予想されるカヤやケヤキ等についても探索収集を図っておかねばならないであろう。

林木遺伝資源は単に収集、保存するだけでは利用価値が生起しない。現地保存されているものにはモニタリングを、現地外に保存しているものには特性評価を行うとともに、分類、同定、クローン化技術の開発・改良が必要とされる。同時にこれらの情報はデータベースとして整備するのみならず、適宜発信されねばならない。本情報誌はこの重要な役目の担い手となってもらえるものと考えている。

21世紀は大競争の時代といわれ、生物資源、生物科学が主役になるという。また、生物多様性の確保、持続可能な森林経営が国際的に重要な課題となっている。我々が扱う林木遺伝資源の分野はその最重要事項となるものであると確信する。

## 林木のジーンバンク事業の実施体制

林木のジーンバンク事業は、林木育種センターの遺伝資源部及び4つの育種場の遺伝資源管理課が中心となり、推進しています。



### 林木育種センター（本所）

〒319-1301 茨城県多賀郡十王町大字伊師3809番地1  
TEL 0293-32-7000(代) FAX 0293-32-7306(企画総務部)  
<http://www.nftbc.affrc.go.jp/>

### 西表熱帯林育種技術園

〒907-1433 沖縄県八重山郡竹富町字南風見仲36番地5  
TEL 09808-5-5007(代) (FAX兼用)

### 北海道育種場

〒069-0836 北海道江別市文京台緑町561番地1  
TEL 011-386-5087(代) FAX 011-386-5420

### 東北育種場

〒020-0713 岩手県岩手郡滝沢村字大崎95番  
TEL 019-688-4518(代) FAX 019-694-1715

### 関西育種場

〒709-4335 岡山県勝田郡勝央町植月中1043番地  
TEL 0868-38-5138(代) FAX 0868-38-5139  
<http://ww1.tiki.ne.jp/~ftbckansai/>

### 九州育種場

〒861-1102 熊本県菊池郡西合志町須屋2320番5  
TEL 096-242-3151(代) FAX 096-242-3150  
<http://kyusyubo.job.affrc.go.jp/>

### 林木育種センターの所在地と育種基本区

